

クラス番号	621	担当教員名	篠田 道子
テーマ	保健・医療・福祉サービスにおけるチームケア		
著書・論文 研究課題等	<p>【著書】「多職種連携を高める チームマネジメントの知識とスキル」(医学書院、2011)、「チームの連携力を高めるカンファレンスの進め方」(共編著、日本看護協会出版会、2010)、「高齢者の終末期ケアの質を高める4条件とケアマネジメント・ツール」(共編著、中央法規、2010)、「質の高いケアマネジメント」(中央法規、2006) 他 【論文】「フランスにおける医師と看護師の役割分担 - 看護師の「固有の役割」を中心に」(海外社会保障研究 NO174, 30 - 41, 2011) 「フランスにおける長期入院への対応 - 在宅入院制度の展開から」(健保連海外医療保障、NO87 21 - 28, 2010) 他</p>		

ゼミナール概要

キーワード：チームケア、ケアマネジメント、連携、退院支援、終末期ケア、認知症ケア、防災福祉・災害医療
福祉企業、フランス医療介護制度

【ゼミの目標と運営方針】

- 1) 本ゼミは、退院支援・ケアマネジメント・終末期ケア・認知症ケア・福祉企業など保健医療福祉に関するテーマを幅広く取り扱っています。東日本大震災後からは、防災福祉や災害医療のフィールドワークにも力を入れていきます。これらに共通するものは、「チームケア」です。
- 2) WHO (世界保健機構) は、「専門職とは連携ができる、あるいはチームケアができる人」と提唱しています。自分の専門性を磨くことも大切ですが、一人で出来ることは限界があります。30を超える専門職やボランティアなどの知恵と力を借りながら、チームで利用者を支えられるよう「連携力」を高めます。
- 3) チームケアは本を読んでも出来るものではありません。カンファレンスや連携のスキルを磨くことが求められます。本ゼミでは、福祉現場で優れたチームケアを実践している実務家に学ぶなど、教室以外での学びを積極的に行います。ゼミ生は、一つのモデルにこだわることなく、様々なモデルがあることを学んでください。
- 4) 退院支援 (MSW と退院調整看護師の役割)、ケアマネジメント、終末期ケア (ホスピス・在宅緩和ケア)、認知症ケア (認知症予防から終末期まで)、防災福祉 (災害医療チーム、こころのケア)、福祉企業 (福祉用具や介護サービス事業所)、フランス医療制度などテーマを選択して、チームケアを学びます。
- 5) ゼミ生に獲得して欲しい能力は、多面的に情報収集し、物事を分析し、言語化し、他者の意見や環境の変化に対応しながらしなやかに生き抜く「弾力性」です。

【ゼミの進め方】

- 1) 3年生の前半は、チームケアや退院支援などに関する文献や資料を読み、基礎知識の習得を目指します。毎回報告者を決めて、レジュメの書き方、プレゼン方法、質問の仕方を学びます。また、実践現場 (病院、福祉施設、行政、福祉企業等) に赴き、見学やヒアリング調査などフィールドワークを行います。
- 2) 3年生の後半は、ケースメソッドなど討論を通して、保健医療福祉サービスの現状を多面的に検討します。サブゼミごとにテーマを設定して、まとめやプレゼンテーションを行います。
- 3) 3年生の終わりには卒論のテーマを決め、春休みから少しずつ書き溜めていきます。4年生の夏休み終了後の提出を目指します。
- 4) 4年生の10月からは国家試験の勉強に専念し、全員合格を目指します。
- 5) 春合宿や国家試験集中合宿等を予定しています。コンパや食事会、卒業旅行など仲間作りをします。

担当教員からのメッセージ



2011年度は学外研究のため、大学を留守にしています。そのため、直接お会いすることは難しい状況です。質問等があれば、気軽にメール mshino@n-fukushi.ac.jp にお問い合わせください。福祉は「実践の学問」です。そのため、フィールドワーク、ゲストを交えたディスカッションに力を入れています。私自身の興味関心範囲がとて広いので、あまり専門性にこだわっていません。主体的に参加し、遅刻・欠席をしない人、前向きな人を希望します。本ゼミは、先輩・後輩・現場で出会った人々のつながりを大切にしています。コンパや勉強会も活発です。卒論はほぼ全員が書いています。最初は自信がなくても、最終的には書けるようになります。「継続は力なり」で一緒に頑張りましょう！